

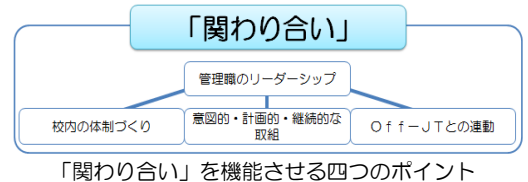
羅針盤

平成28年度 第18号(通算269号)
平成28年12月2日(金) 発行
岡山県総合教育センター
Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

『学び続ける教員のための OJT ガイドブック「関わり合い」で創るすてきな学校』活用シリーズⅢ

学校力向上につながるOJT ～実践事例紹介～

本シリーズⅠ(11月4日(金)発行)では校内チーム制実施の方針について、本シリーズⅡ(11月18日(金)発行)では校内チーム制の進め方について紹介しました。本シリーズ最終回の今号では、昨年度のOJT研究協力校である、早島町立早島中学校の取組事例を紹介します。校内チーム制の取組の推進には、「関わり合い」を機能させる四つのポイントの一つである、管理職のリーダーシップが重要です。早島中学校では、管理職が学校の実情を踏まえながら、先を見通して、意図的に仕掛けていったことが成果につながっています。



～早島町立早島中学校の取組～

■学校の実態を踏まえた、見通しをもった意図的な仕掛け

【前半】学校行事に焦点化し、教職員同士で目標の共有化や協働文化を醸成



【後半】授業改善をテーマにしたOJTにシフト

■学校教育目標の達成を意識

- ・教職員一人一人の育成を図るだけでなく、学校教育目標の達成を意識し、学校力の向上につなげることを最終目標として実施

■「関わり合い」を深める校内体制づくりの工夫

- ・学年や教科を越えて「関わり合う」ことができる意図的なチーム編成
- ・学び合い高め合いを促進するための授業(学校行事に向けた取組) 参観の設定
- ・OJTチーム研修が円滑に進むように、各チームにスーパーバイザーとコーディネーターを配置

【OJT1チームの構成】	
スーパーバイザー	1人
コーディネーター	1人
メンター	2～3人
メンティー	4人

※縦割り編成で3チーム

■教職員の意欲を高める工夫

- ・教職員の学び合う姿を生徒や保護者に紹介、校長室BLOGで発信

～成果～

- ・学校行事や学習指導等のノウハウが伝承され、多くの教職員が自身のスキルとして獲得
- ・若手教職員の成長だけでなく、ミドルリーダーやベテランにも新たな気付きや学び
- ・メンターとメンティーのクラスで合同授業(学校行事に向けた取組)を行うことにより、教員同士の学び合いに加えて、学年を越えた生徒同士の学び合いへ発展
- ・学び合う協働文化の広がり(メンターから教職員の共通理解促進を図る提案)
- ・学年等の枠にとらわれない、気軽に相談し合える雰囲気



～課題～

- ・チーム間において情報をスムーズに共有できるような仕組みづくり

〈学校力向上につながるOJTの在り方(五つの提言)〉

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| (1) 学校教育目標の達成を意識する | (2) 個人と組織の双方の成長を促す |
| (3) ミドルリーダーの資質能力を伸ばす | (4) 若手教員の主体性を引き出す |
| (5) 学校の実情に合わせた実効性のあるOJTにする | |

「教育時報」平成29年3月号において、「学校力向上につながるOJT - 『関わり合い』で創るすてきな学校-」を特集として、さらに詳しく実践事例等を紹介する予定です。(担当・教育経営部)

※次号の発行は12/16(金)の予定です。

【バックナンバー】<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>